

1 各評価項目の今後の主な取組について



安全確保と危機管理

- ・児童生徒数の増加に伴い、特別教室やグラウンドなどの施設設備の充実に向けて取り組んでいきます。また、児童生徒が学習内容に合った環境で安全に学習できるよう、さらに工夫していきます。
- ・スクールバスを利用する児童生徒が安心して乗車できるよう、迅速にスクールバスの現在地を保護者の方に伝達できるような方法を検討していきます。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策及び事故防止の取組を今後も継続していきます。

自信と意欲を育てる指導

- ・今後も教育目標達成のため、児童生徒の自信と意欲を育てる指導に取り組んでいきます。
- ・児童生徒の実態に合った学習形態の工夫やICTを活用した授業実践に取り組んでいきます。
- ・タブレットや電子黒板の活用した授業実践を充実させるため、教職員の研修を行います。

家庭及び地域との連携

- ・感染症対策のため学校の様子を保護者の方に観ていただく機会が少なかったことを踏まえ、今後さらに行事や授業など学校の様子を保護者の方に伝達できるよう取り組んでいきます。
- ・地域における学習活動の充実を目指し、協力していただける地域の人材を増やす取組をしていきます。

2 学校評議員、PTA会長からいただいた御意見



- ・学校評価の全ての項目で、教職員よりも保護者の方の評価が高いことから、学校の取組が分かりやすく理解されているのが分かった。
- ・GPSの活用により位置確認ができるようになったら、バス待ちの子ども達にも配慮されて良い。
- ・新型コロナウイルス感染症対策について、対策は良く行われていた。必要に応じて分散登校や運動会、ふよう祭もグループを分けて行われて良かった。
- ・いじめの未然防止については、児童生徒や保護者向けなど様々な取組がされており、熱心に指導されていると感じた。
- ・動画の制作は、相当な編集時間を要するので大変だが、見る側にとってはとても分かりやすいのでチャレンジしてほしい。
- ・2名の生徒が企業就労内定したことは、素晴らしい。
- ・卒業生の進路について、コロナ禍ではあるが先生方の指導で保護者に寄り添うもので、ありがたい。
- ・働き方改革は、コロナ感染対策で業務が多く難しいと思われた。